



一般社団法人

# 関東沖縄経営者協会

Kanto Okinawa Management Association

会報  
第8号



発行日 2018年4月27日  
(1、4、7、10月発行)

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2 城辺橋ビル  
TEL 03-3271-5567  
FAX 03-3281-4320

URL <http://www.kanoki.jp/>  
FACEBOOK <https://www.facebook.com/kanoki.jp>

## 理事会報告

### 第七回理事会

1月19日(金)18時〜 メディア・ワン会議室

#### ○委員会報告

##### 一、総務委員会

- ①第52回定時総会・懇親会の日時・会場(案)について

##### 二、会員増強委員会

- ①ドリカム2000体制の充実

##### 三、研修・人材開発委員会

- ①第6回「経営セミナー」開催について
- ②第7回「経営セミナー」開催について
- ③2018年度・役員・理事改選について

#### ○その他

- ①「第32回沖縄県経営者大会」(沖縄県経営者協会主催)について
- ②関東沖縄関係団体協議会主催「沖縄県人会合同新春のつどい」について
- ③「第32回 紺碧会・東京」について

### 第八回理事会

2月15日(木)18時〜 メディア・ワン会議室

#### ○委員会報告

##### 一、総務委員会

- ①第52回定時総会の内容について

##### 二、会員増強委員会

- 新規会員入会状況「ドリカム2000体制の充実」の確認

##### 三、研修・人材開発委員会

- ①第7回「経営セミナー」開催について  
日時：2018年4月
- ②第8回「経営セミナー」開催について  
日時：2018年7月

##### 四、広報委員会

- 会報第7号を発行予定(2月)

#### ○事務局

会員証発行について

- 2018年度・役員・理事改選

- ①理事の大幅見直し
- ②若手理事登用を検討

#### ○その他

- ①東京沖縄県人会 女性活躍委員会主催「講演会」について
- ②沖縄県経営者協会 創立60周年記念「チャリティゴルフ大会」について

### 第九回理事会

3月15日(木)18時〜 メディア・ワン会議室

#### ○委員会報告

##### 一、総務委員会

- ①第52回定時総会・懇親会の各人役割について

##### 二、会員増強委員会

- ①会員入会状況 153人

##### 三、研修・人材開発委員会

- ①第7回「経営セミナー」開催について  
日時：2018年4月16日(月)
- ②第8回「経営セミナー」開催について  
日時：2018年7月18日(水)

##### 四、広報委員会

- 会報第8号発行について

#### ○事務局

- 会員のイベントや告知などがあれば、積極的にメールにて情報提供していきたい
- 2018年度・役員・理事改選について
- ①理事の大幅見直し
- ②新任理事候補者の推薦

#### ○その他

- ①「よみがえる沖縄1935」写真展沖縄タイムス社・朝日新聞社主催について
- ②翔舞Ⅷ(故 川口喜代子会長に捧ぐ)について
- ③「仲本光正リサイクル」のご案内
- ④沖縄フェスティバル(沖縄物産イベント)三東京競馬場)

## 活動報告・活動予定

### 研修・人材開発委員会

新垣 卓也委員長

第6回経営セミナーを平成30年2月14日(水)に開催いたしました。

今回の経営セミナーは当協会の会長である仲松健雄氏を講師とし、「仕事と人生」の演題にて、過去の成功譚だけではなく経営者として苦労した点など様々な話題を語っていただきました。当日は立ち見もでる盛況ぶりでした。こもったセミナーとなり、セミナーだけでなく二次会も大盛り上がりでした。今後定期的な経営セミナーを開催していきますので会員の皆様も是非ご参加ください。

### 関東沖縄経営者協会 第52回定時総会・懇親会のご案内

日時：2018年6月15日(金)  
18:30～21:00(受付 18:00)

会場：ホテルニューオータニ「鳳凰の間」  
東京都千代田区紀尾井町4-1  
TEL:03-3265-1111  
(地下鉄「赤坂見附駅」徒歩3分  
JR「四ツ谷駅」徒歩8分)

式次第：総会 鳳凰の間 18:30～19:00  
懇親会 鳳凰の間 19:10～21:00

会費：10,000円



経営セミナー 研修委員会主催 4月16日18時半  
会場 メディアワン会議室

# 経営者のメンタルタフネスと度量

関東沖繩経営者協会 副会長 新垣 進氏



私の30年の経営者人生の肝をお伝えします。経営の世界は勝てば官軍負ければ賊軍です。会社の業績がよくて人間力がよくない経営者と会社の業績がよくない経営者があがるか、経営者の世界では前者です。一番良いのは業績がよくて人間力のある人物です。私のメンタルを鍛えたのに若い頃の滝行があります。10年間、31歳から41歳まで毎週2回深夜の12時に高尾山の蛇瀧に10年。10000回以上の滝行をしたことになりました。自分でもびびくりしています。冬は、頭が凍るくらい、寒いです。梅雨の時は、身体が流されないよう自分が重たい鉄になったイメージではあります。白に行着を着て。手を合わせて、不動明王のノーマクスアマンダク...を唱え自分が不動明王になったつもりで...人間、10年も一つのことを真剣にやれば、何か得ます。自分が仕事で瀕死の経験をした時に復活できたのは、この滝行の経験が大きいです。それでは私なりに経営者の条件を語りたいと思います。(あくまでも私の独自論です。)

●経営者は思考(夢・目標)が現実化するためには現実の分析がとてども大事。分析できないと思考は現実化しない。

●経営者の目が複眼。怖い目つきをしていても、奥の目が笑っている。目は笑っているけど、奥の

目は怖い。顔は笑っているけど目は笑っていないのは駄目(単眼の目)。

●大きな度量を持っている。大きな度量とは、誰をも許す大きな心、包容力。

●経営者はメンタルタフネスである。(強い人間は自分の弱さを知った時に

●経営者は一場面で調子に乗っても、心の底は地に足がついている人。

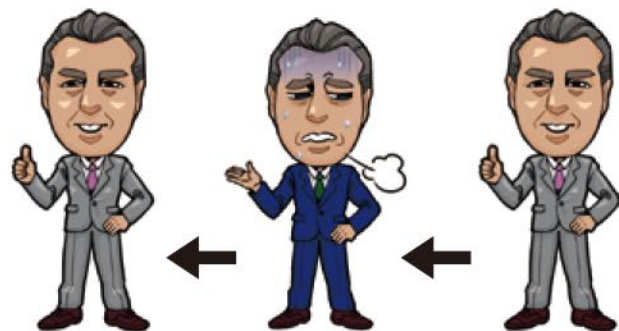
●経営者は忙しいすぎでは駄目、必ず踊り場を作れる人。

●先を読むには現実をきちんと分析すること。良い方向か悪い方向か。先を読める人。

●世の中はパワー理論で動いている。誰よりも元気な人。(運をつかむのは誰よりも元気な人)。ただし、元気なパワー理論だけでは壁にぶち当たります。壁を破るためには「柔よく剛を制す」「負けて勝つ」を覚えると厚い壁は薄くなり、破れる。

●人生は我慢、我慢です。人生で何が一番大事か?最後にいきついたのが忍耐強さ。誰よりも我慢ができる人。

それでは我慢で有名な歴史上の天下人の徳川家康が32歳の時に気づいた大将の哲学です。



イラスト：あさと みなみ

## 「大将の戒め」徳川家康

大将というものは敬われているようで、その家来に絶えず落ち度を探られているものだ。恐れられてはよいので侮られ、親しまれているようで疎んじられ好かれてはよいので憎まれているものじゃ。大将というものは絶えず勉強せねばならぬし礼儀をわきまえなければならぬ。よい家来をもとうと思ふなら、わが食を減らしても家来にひもじい思いをさせてはならぬ。自分ひとりでは何もできぬ。これが32年つくづく思い知らされた家康の経験ぞ。家来というものは禄でつないではならず、機嫌をとってはならず、遠ざけてはならず、近づけてはならず、怒らせてはならず、油断させてはならぬものだ。では、どうすれば良いので? 家来には惚れさせねばならぬものよ。

さすが徳川260年の基礎を作った人の言葉ですね。家来には惚れさせねばならぬものよとは流石ですよ。そうで、部下を惚れさせた経営者は強いですよ。

私、新垣はどうですか?社員を惚れさせるほど難しいことはありません。努力はしていますよ。誤解しないでください、社員の機嫌をとつても、惚れてはくれませんよ。関東沖繩経営者協会にはやり手の経営者が沢山おられます。ぜひ同じ空気を吸って色々な事を学べる会にしたいと思ひます。ありがとうございました。



講師の新垣氏とセミナー参加者



## 大城建設60周年を迎えて

大城 朝夫副会長



大城建設株式会社はおかげさまで創業60周年を迎えることができました。感謝申し上げます。それを記念いたしまして3月に千代田区のホテル

ニューオータニにおいて決起大会及び会長大城和子卒寿を祝う会を開催し、関係会社様や沖縄県人関係者様で約80人の方にお集まりいただきました。当日はオリオンビールで乾杯し、泡盛も多くの種類が出ました。余興では沖縄県指定無形文化財の伊良皆高吉先生の三線が披露されるなど、大城建設らしく沖縄色が出た決起大会になりました。

弊社は昭和32年に先代の大城朝信（沖縄県嘉手納町出身）によって東京都板橋区にて創業いたしました。東洋建設不動産有限公司から始まり、大城建設株式会社を設立、昭和48年に両社合併をし、現在の大城建設株式会社に至っております。

創業以来、東京・首都圏で新築工事に取り組んで参りました。私が引き継いで二代目となつてからは新築戸建住宅はもちろん、リフォームやマンション等の大規模新築・修繕工事、また近年では耐震工事・バリアフリー工事・店舗改修工事等数多く実施しております。その技術が認められ、現在は東京都住宅供給公社の都営アパート工事や、板橋区内の学校施設や公

園などの公共施設工事にも携わっております。区立中学校大規模改修工事では板橋区長より褒状を拝受するなど、地域の安心・安全な暮らしにも寄与しております。

さらに沖縄料理店・ショップ改修工事においては、関東にて数多くの実績があります。内装には特にこだわっており、沖縄から寄せた本場の赤瓦や琉球石灰岩を使用しています。沖縄らしい雰囲気がお客様からも非常に好評です。

これからの時代は環境問題・エコ・少子高齢化時代で、住まい・建物に課せられた課題はますます複雑に、そして多様化しています。お客様の笑顔が生まれる空間造りのため、今後もゆるぎない施工体制でこれまでの半世紀と歩みを変えることなく前に進んで参りますので、ご指導・ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

### 会員コラム③ 豊里 盛泰副会長



故郷を離れて53年。初めて本土の土を踏んでから今日まで色々なことがありました。

かつて甲子園での沖縄代表チームに対する大きな声援は、実力ではない同情応援だと言われていました。それが着実に実力をつけ豊見城、沖水の活躍、近年は沖縄尚学、興南が優勝するまでになりました。また、ボクシング界においては具志堅用高を始め比嘉大吾まで9人の世界チャンピオンが誕生しています。ゴルフ界でも、宮里兄妹を始めとした選手が国内外で活

躍しています。スポーツ界での活躍に止まらず芸能界での活躍も周知のことと思います。

沖縄県の魅力が高まる中、2017年の観光客数がハワイを超えました。昭和47年の56万人から939万人と実に約17倍です。また、人口の自然増は47都道府県中唯一です。しかも調査が始まって38年連続で自然増が続いているそうです。

この事は大変素晴らしい、誇れる事だと思います。私自身色々な分野で素晴らしい可能性のある沖縄で生まれ育つたことに感謝し、微力ですが今まで以上に故郷の充実、発展の為に頑張りたいと思います。

### 連載 第3回 私の創業履歴

重田 辰弥名誉会長



### 合併で知った重田経営の限界と特色

私は創業30期、1期を除き黒字経営を続けていました。創業6年目の1984年には日経の「有力ベンチャー企業500社」にも選出され、今原禎治野村証券常務が立ち上げた国内最大のベンチャーファイナンスのJAFSCOからも出資を受け、その社長が当時の三田の我社を訪ねて来られ、「財界」（1984年9月18日号）にも掲載されました。87年にはNHKテレビからも取材を受け、放映されました。

それにも拘わらず、何故上場されなかったのか。30期の売上は20億でしたが、ジャスダックや



マザーズでの上場には黒字基調の売上高以外のハードル(基準)には遥かに及びませんでした。後年、一部上場の同業会社と提携し、私の経営スタイルの限界が理解できました。それは一口に言つて「欲望の低さ!」です。上場達成の経営TOPは売上、利益率、資産総額等の目標に対し、強烈な意志と実行力があります。例えば、我社の場合、従業員の超過勤務代と利益額はほぼ等しく、この残業代抑制コントロールだけで利益率は倍増したはずですが、私は個々の社員の扶養やローン負担を忖度し、なかなか実行出来ずにいました。

ところが、合併した企業では残業の事前申請を徹底し、それが実行されない場合、上司の管理責任が厳しく問われます。合併前の当社では定期代は社員の申告通りに支給していましたが、新会社では社員が使っている通勤路とは関係なく、遠距離でも安い通勤路線代を支給し、その結果1割近い通勤費削減になりました。また、50歳を過ぎた非役職社員は年収がダウンする制度があり、ある時、社員から「息子がまだ在学中で、自宅ローンもあり何とかならないですか」との嘆願を受け、総務部長の元に連れて行ったところ、部長は「事情はよく分かります。でもこれは規則で貴方だけが適用される訳では

ありません」と云われ、合併会社のコスト管理の厳しさを認識しました。長く私の経営風土に親しんだ社員は悲鳴を上げ「なんで、重田のお陰で、こんな目に会うの!」と思われたかもしれません。ある時、合併会社の監査役から、「重田さんの会社、なんであれ程社員を甘やかしていたのですか!」と言われ、経営者としての自分の甘さを痛感させられました。とは言え、私の甘い経営方式ではない会社はもつと厳しくなったのではないかと思います。こうした厳しい鉄則を強いられる一部上場の社長勤続が平均10年以下ということが改めて分かりました。

個々の現場に甘く優しい社長は、長期的に経営逼迫、やがて倒産という社員にとって最も厳しさを強いる合成の誤謬という結論を感じました。勿論、経営は株主重視の上場だけが全てではなく、様々なスタイルがあります。合併した他の会社と比較して社員旅行以外に創業10年毎の記念パーティや幹部社員の半数近くを占める30組以上の社内結婚に、同業のOB社長から、そんな経験は少ないと言われました。会社経営、悲喜交々ですが、経営の継承、M&A等を考えておられる会員経営者の方々に私の拙いこうした経験が何がし役立てばと、拙い経験の披露でした。

～会員特典のあるお店のご案内～

厳選沖縄食材を地元で食べるより美味しくを目標に仕入れ、調理、仕込み、又お客様の貴重な楽しいお食事時間をより楽しんで頂ける様真心込めた接客を心掛けスタッフ一同精一杯に取り組んでいます。

**会員特典** オリオン生ビール、又は、好きなドリンクを1杯サービスします。



ゆいまゝる広場

**あちこー酒場 合家**

東京都中央区日本橋人形町2-25-6  
ランチ 11:30~14:00  
ディナー 17:00~23:00 休 祝日  
03-5642-8088 03-5642-8077

**くわっち一家**

東京都中央区日本橋堀留町1-10-19  
営業時間同上 休 日 祝日  
03-5651-1827



新商品 やぎ鍋 1人前1,480円(2人前より)

ゆいまゝる広場は、会員の皆様が発信したい情報を掲載する広場です。掲載ご希望の方は、根間までご連絡ください。  
(nema@dolphins.ne.jp)

**事務局より 豊島 立子 事務局長**

会員向け、イベント情報・チラシ配布等ございましたらご連絡ください。  
※理事会にて内容精査を行い展開致しますのでご了承ください。

一般社団法人関東沖縄経営者協会会報

発行日 2018年4月27日発行 通巻第8号  
発行 一般社団法人関東沖縄経営者協会  
発行人 仲松 健雄

デザイン・印刷 (株)ドルフィンズ  
編集 広報委員長 根間 柁至

広報委員会 委員長 根間 柁至 副委員長 豊島 立子 委員 新垣 卓也、近藤 ゆうな、大城 章男

住所 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2城辺橋ビル TEL:03-3271-5567 FAX:03-3281-4320  
E-mail info@kanoki.jp URL www://kanoki.jp FACEBOOK https://www.facebook.com/kanoki.jp

新規会員を募集しております。ご希望の方、ご連絡をお待ちしております!

